

「事業名:リスク・コミュニケーション工学を活用した復興学による浪江町創成」
～イノベーション・コースト構想の実現に向けて～
平成30年度補助事業の実績・成果

東京工業大学 連携市町村:浪江町

連携市町村との協定締結日:平成30年10月23日 現地拠点:双葉郡浪江町サンシャイン浪江

事業のポイント

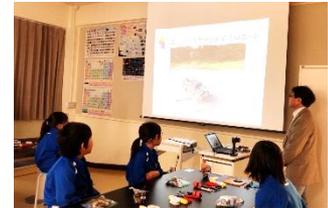
本事業では、福島復興に向けて、現地で他大学や他研究機関と協働で取り組み、これをもとに、知の実践を進め、大学等のネットワークを活用して知の集積を図ると共に、リスク・コミュニケーション工学に、除染科学、ロボット計測工学を融合して「福島復興学」という新しい学問領域を実学として構築し大学院生実習や小中学校ICT教育支援、理科・文化・ロボット教室支援などを通して人材育成を行い、地域企業や地域自治体と協力して産業振興に資することを目的とする。

今年度の活動実績

- ・復興なみえ町十日市祭での理科教室(セカンドスクールイベント)の実施
- ・なみえ創成小学校・中学校でのロボット教室の実施
- ・復興学研究発表会(リスク・コミュニケーション工学研究会準備会)の実施
- ・リスク・コミュニケーション工学の学術基盤研究の推進
- ・大学生(大学院生含む)の教育活動:リスク・コミュニケーション工学実習(超音波探傷)の実施
- ・大学生(大学院生含む)の教育活動:リスク・コミュニケーション工学実習(ロボット計測)の実施
- ・東京工業大学のキャンパスおよびJAEA櫛葉遠隔技術開発センターにおいて廃炉研究の実施
- ・福島大学の研究者と連携してMCF(Magnetic Compound Fluid)を用いた新しいロボット用センサの開発研究
- ・除染科学として地域の環境回復手法の調査・検討
- ・「福島復興学」の実学として社会試験すべき産官学共同事業の可能性の調査
- ・他大学研究者と浪江町にてリスク・コミュニケーション工学の知の集積を図る活動の実施(大学等研究者間連携ネットワーク形成の推進)



復興なみえ町十日市祭での理科教室(セカンドスクール)



なみえ創成小学校・中学校でのロボット教室



復興学研究発表会(リスク・コミュニケーション工学研究会準備会)

今年度の成果

平成30年度は、大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業における東京工業大学と浪江町との協定に基づき、「復興なみえ町十日市祭での理科教室」、「なみえ創成小学校・中学校でのロボット教室」を実施した。また、リスク・コミュニケーションの現場としての「町民向け廃炉説明会」に参加し、震災被災地の実情を認識した。さらに、「リスク・コミュニケーション工学実習(超音波探傷・ロボット計測)」を実施し、「復興学研究発表会(リスク・コミュニケーション工学研究会準備会)」を開催することで、福島復興学、リスク・コミュニケーション工学の構築のための調査、準備活動を実施した。また、他大学研究者との連携を通じて知の集積・大学等間ネットワーク形成の促進を行った。本年度に得た知見をもとに、次年度以降、本活動をさらに発展させる予定である。